

漁船員の皆さんへ居眠りにご注意を

お盆を過ぎた北海道では、各地でさけ定置、さんま棒受け網、いか釣り等の漁業活動が最盛期を迎え、多くの漁船が本格稼働しますが、漁船が本格稼働すると、出港 操業 入港 水揚げ 出港・・・というサイクルを休みなく繰り返すため、操船者が疲労による居眠りなどの事故を起こしやすい状況になります。

事故の一例として、操業を終え帰港のため操船中の船長が過度の疲労から居眠りした、結果、漁船は防波堤に衝突・沈没、乗組員は全員救助されたものの、船体・積荷は全損するという大きな事故が発生しています。



《防波堤付近に乗り揚げた漁船》

このような事故を防ぐため、漁船員の方は無理のない操業・十分な休養を心掛けるとともに、航海当直や各種作業を複数で行うなど事故防止対策をとるようにしてください。

航行中は複数で見張り、操業中も含め常時見張りを行いましょう

衝突を避けるため、十分に余裕を持って、他船にわかりやすい回避動作を取りましょう。

航行中、疲れて眠気を感じたら操船を交代しましょう



入港時は港口に差し掛かる前に十分に減速し、港内では安全な速度で航行しましょう

お問い合わせ

第一管区海上保安本部交通部

電話 0134-27-0118 (内線2641, 2643)



海難隻数及び海難による死者・
行方不明者数(速報値)

7月	17隻、3人
平成30年累計	57隻、5人